

# 棚倉町立棚倉中学校 実践研究テーマ:自分のよさを伸ばし、「なりたい自分」の実現に向けてチャレンジする生徒の育成

## サブテーマ:学ぶ意欲とスキルを育てる授業づくり(R4)

### 【学校教育全体で取り組むために大切にしたこと】

- ◎生徒の実態把握をもとにしためざす資質・能力の設定
  - 行事を通して学級・学年集団としてまとまることができる。
  - 将来の夢や目標を持っている。
  - 他者を思いやることができ、人の役に立ちたいと考えている。
  - ▲課題意識をもって学習に取り組む姿勢が弱い。
  - ▲「なりたい自分」になるために、粘り強く取り組もうとする力が弱い。
  - ▲難しいことにもチャレンジしようとする気持ちが弱い。
- ◎育てたい資質・能力の設定⇒「ほめポイント」として共有
  - 1学年 「互いに協力し合い、自分のよさを伸ばせる力」
  - 2学年 「自分のよさを大切にし、前向きに挑戦する力」
  - 3学年 「自分のよさを生かしながら、将来の生き方について考える力」

### 【キャリア教育の推進】



#### 【校舎掲示物】

- 学年・教科ごとに、将来とのつながりを実感しやすい学習単元をピックアップ
- 教員・生徒の双方が、身に付けたい力を意識
- 学ぶ意欲の喚起

### 【キャリア教育推進に向けた具体的な取組】

#### (1) 立志教育の推進

- 2年生での立志式を契機として、「1年・志を求めて」「2年・志を立てる」「3年・志に向かって」を学習活動の流れする。
- 棚倉町キャリア教育アドバイザーと連携し、立志教育講演会を計画的に実施。



夢がゴールではない。その先に志がある。

人生の経営者は自分。自分で決める。

#### (2) キャリアパスポートの有効活用

- 小中高のつながりを意識して活用し、自己理解を深めさせ、コミュニケーションツールとする。
- 目標・計画・反省・振り返り・改善をさせ、新しい目標とPDCAサイクルを自己管理する。

#### (3) キャリア手帳（フォーサイト手帳）の活用

- 自己の生活を管理するとともに、自己理解・自己管理能力を育成する。



#### 【教科等横断的な活用】

気付いた時にすぐに開き、学習の振り返りや、今日の課題等について書くことで、自分の課題を意識したり、苦手克服に向けて対策したりする自己マネジメント力が育まれている。

**棚倉町立棚倉中学校 実践研究テーマ:自分のよさを伸ばし、「なりたい自分」の実現に向けてチャレンジする生徒の育成**  
**サブテーマ:学ぶ意欲とスキルを育てる授業づくり(R4)**

**(4)「ほめポイント」の共有**

【ほめポイント】

設定した資質・能力に照らし合わせた、その子のよさや将来に向けて伸ばしたいところ。

○学年ごとに、各学期で育てたい資質・能力を設定。

「ほめる」⇒「できたことを見取って、価値付けする」の繰り返しを重視

**1 学年 「互いに協力し合い、自分のよさを伸ばせる力」**

1 学期「新しいことに取り組む時、前向きに取り組もうとする」

2 学期「話を聞く時、その内容を聞き取ることができる」

3 学期「目標実現へ向けて、見通しを持って行動することができる」

**2 学年 「自分のよさを大切に、前向きに挑戦する力」**

1 学期「自他のよさを認め合い、お互いに協力して物事に取り組むことができる」

2 学期「困難なことに対しても、前向きに挑戦することができる」

3 学期「なりたい自分の実現に向けて、見通しを持って計画を進めることができる」

**3 学年 「自分のよさを生かしながら、将来の生き方について考える力」**

1 学期「何かをする時、見通しを持って計画を進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりする」

2 学期「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めることができる」

3 学期「今学んでいることと、将来のつながりを考えることができる」

**(5) 意図的・組織的な意思決定の場の設定**

○「自分で決める」をモットーに、自己選択・自己決定させる場を意図的に設ける。

○フォーサイト手帳とテスト計画表（課題中心型）の連動

**(6) ガイダンスとカウンセリングの充実**

○ガイダンス（集団の場で必要な指導や支援）とカウンセリング（生徒が抱える課題に個別に対応した指導）の双方の充実による、生徒たちの発達を支援。

○キャリアパスポートによる教師の生徒理解や、「ほめポイント」の共有などの取組を生かす。

**【生徒の変容】**

キャリアパスポートからの見取りを生かした関わり

(以前) 引っ込み思案、友達ができるか不安

自分発見シート  
(小学卒業時)

友達と仲良くして、友達をたのむ。つくりたい。関わるか。

クラスの女子の人数が少ないから、1人になってしまふから話さない事がある。

**本人の変容**

**【目標】「多くの人と関わりたい」**

(1年1学期)・緊張から表情が硬く、不安が先行。

・級友との関わりにやや後ろ向きな発言もあり。

(1年3学期)・多くの級友と交流し、クラス替えを惜しむ発言。

・「もっとたくさんの人と関わりたい」

(2年1学期)・学級委員を務める。最初は呼びかけあまりできず。

(2年2学期)・合唱練習の際、積極的に呼びかけをする。

中1終了時

自分の性  
もてたててみんなと  
関わりをもつ。

友達(一年後)の目標に一致  
多くの人と関わりをもつ。お預けできずには  
なりたい。お礼も少しお返ししたい。

**【今後の取組について】**

○子どもの姿による評価・検証・改善を行い、よりよい取組につなげていく。

○教科横断的な取組をさらに推進し、「なりたい自分」の実現に向けて学び続ける生徒の育成を目指す。